



在日大韓基督教会
宣教100～110周年
標語

感謝の百年
希望の百年
(テサロニケ第1/5:18)

1963年9月20日 第3種郵便物許可(毎月一日発行)

2017年8月1日(火) 第764号

発行所 福音新聞社(1部100円)
〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398 info@kccj.jp
発行人/金性済・編集人/金柄鎬
印刷所 青丘文化社

<2017年 日本基督教団・在日大韓基督教会 平和メッセージ>

日本基督教団総会議長 石橋秀雄
在日大韓基督教会総会長 金性済

「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない。」(イザヤ書2章4節)

わたしたちは、主イエス・キリストを救い主として、世にあって教会に呼び集められ、そして主イエス・キリストの名によってこの世に、「地の塩」そして「世の光」(マタイ5:13-16)として「平和を実現する」(マタイ5:9)使命を帯びて遣わされている教会であります。この信仰的自覚に立ちつつ、わたしたちは、今遣わされているこの時代の世にあって、国家の政治の道が聖書の指し示す平和の道に反すると判断した時、黙認することなく、預言者の心をもって警鐘の声を挙げずにはおれないのです。日本基督教団と在日大韓基督教会は、以上のような信仰的立場を共有しながら、1984年2月に和解と協力の宣教協約を締結し、今日に至るまで、福音伝道に協力し合いながら世の平和に仕え歩んでまいりました。

しかしながら、過去四半世紀の日本の政治の流れを振り返るとき、わたしたちは大きな危惧を抱かずにおれません。旧日本軍「慰安婦」問題への日本の国家的関与を認めた、1993年の河野談話、また日本の戦争責任に関する1995年の村山談話以降、第一次安倍政権が2006年に誕生しました。そして2012年以降、第二次、第三次安倍政権のもとで、特定秘密保護法制定(2013年12月6日)、集団自衛権容認の閣議決定(2014年7月1日)、安保法制の確立(2015年9月19日)に至り、今日では憲法第9条をはじめとする改憲の動きを一層強めています。さらに、戦前に国民の内心の自由、表現の自由、集会結社の自由を脅かす弾圧装置として機能した治安維持法と酷似する「テロ等準備罪」(共謀罪)法案を成立(6月15日)させ、それは施行(7月11日)されることになりましたこれら一連の政治の動きを通して、基本的人権と平和主義の理念に立つ現行憲法に支えられてきたこの日本は今、自由と人権を尊重する民主主義と平和主義、そして国家権力の暴走を防ぐ立憲主義を崩壊させつつあると、わたしたちは認識し、強い危機意識を覚えると共に、そのような動きに断固反対します。

今日日本が自公連立政権の、多数議席の横暴によって歯止め

がかからないまま突き進む危険な政治に対して、わたしたちは聖書の指し示す愛と平和の福音に立脚しつつ、断固として反対を表明します。さらに、自由と人権を保障する平和憲法に基づく民主主義国家と戦争を放棄する平和外交の道を強く訴えずにおれません。なぜなら、わたしたちキリスト者は、聖書のみ言葉に促され、この世界にあって、「見張り」(エゼキエル書3:17;33:2)の使命を帯びて、正義と平和を証しする証人として平和の主イエス・キリストに遣わされているからです。

2009年よりこの日本に広がり始めたヘイトスピーチに対して、わたしたちは2015年11月に「マイノリティ問題と宣教」国際会議を東京で開催しました。その結果、去る4月8日に、東京新宿西早稲田に「マイノリティ宣教センター」を、世界の諸教会に支援されながら、日本のキリスト教諸教団・諸団体と共に開設するに至りました。わたしたちは今後、このセンターを通して、日本の諸教会と共に、そしてさらに欧米諸国において人種差別と難民排斥と闘うキリスト教会とつながりあって、和解と共生平和の天幕を広げるような宣教的取組を推進していく所存であります。

さらに、わたしたちは、不安定化した朝鮮半島を中心とする北東アジアにおいて、いたずらに緊張を煽る政治主張やメディアに踊らされることなく、冷静な目をもった対話的な平和外交の道を切望します。そのためにまず、日韓のキリスト教会の間において、和解と平和をめざす誠実な歴史認識の共有と相互交流と宣教協力の道を、いっそう力強く推進していく所存であります。

和解と協力の宣教協約に結ばれた日本基督教団と在日大韓基督教会に、「向こう岸に渡ろう」(マルコ4:35)と呼びかけられた主イエス・キリストが、この嵐の時代の世に宣教の船出をする両教会を守り、導き、そして貴くお用いくださることを信じつつ、平和の向こう岸に向かって帆を広げ進み続けていくことを、わたしたちはここに決意するものであります。

「主よ、われらを守り、導き、お用いくださり、あなたと共に平和のために働くものとなさしめたまえ。アーメン」

2017年8月1日

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様のお会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャンゴ・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月～2年、短期研修)

関西◆にほんご教室(新規開講・募集中) ◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャンゴ)

税込	平日	休日
シングル	¥6,700	¥6,200
ツイン	¥10,500	¥9,800
トリプル	¥13,500	¥12,600
※朝食¥200(宿泊者価格)		

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

全国教役者研修会開催

「宗教改革500周年と日本宣教の課題」主題に



2017年全国教役者研修会が、去る6月5日～8日、ソウル女伝道会館で「宗教改革500周年と日本宣教の課題」という主題のもとで行われた。全国教会から60名の教役者が集い、主題講師として日本エラスムス学会で活躍している木ノ脇悦郎牧師（日本基督教団）を招き講演を聞いた。また宗教改革者ルター（白石大 朱熹洪教授）・カルヴァン（韓神大 全喆教授）・ツヴィングリ（長神大 林熙国教授）・エラスムス（木ノ脇悦郎牧師）の各宗教改革者たちに対する発題を聞き、パネル・ディスカッションを行った。そして韓国で在日大韓基督教会と宣教協約を結んでいる7教団を訪問し、有益な研修会となった。

初日は、開会礼拝（説教：李聖熙牧師、蓮洞教会）後、「人文学者エラスムスの視点から」というタイトルで講師の木ノ脇悦郎牧師による主題講演が行われた。木ノ脇牧師は著作『エラスムス研究－新約聖書パラフレームの構成と展開』、『エラスムスの思想的境地』などエラスムスの研究者として宗教改革の基礎を造ったことを説明し、宗教改革の重要な働きをしたにも関わらず、大きな評価を受けていなかったエラスムスのことを深く学べる講演であった。

講演の中では「宗教改革初期の様子を見ると教会が抱えていた問題を越えて事柄が進んでいき、その中で決断しながら将来を見る必要があるのは当然であるが、周辺状況に流されて自分の立ち位置を失ってしまう危険と常に直面していることを理解しなければなりません。従って、エラスムスのようにこれは何のためであるか、問題の核はどこにあるかを常に点検しつつ現実に対処する必要があることを教えられます。日本の宣教を考える時に必要な視点が示されるように思います。」と語り、講演を結んだ。

二日目は、宗教改革者（ルター、カルヴァン、ツヴィングリ、エラスムス）の思想や働きを担当者が発題し、各発題者に講

演を聞いた牧師達が質問する形式でパネル・ディスカッションを行った。

また、卓志一教授（釜山長神大）を通して「異端宗教の最近動向」と言う題で今韓国や日本で働いている異端の働きやその対策を学ぶことが出来た。

霊性集会は趙庚烈牧師（阿峴監理教会）の「イエスの心を持って武装しなさい」との題の御言葉が語られ聖霊の働きが強く感じられる喜びの時間であった。

三日目は、総会と宣教協力を結んでいる韓国の合同、基聖、大神、基監、基長、統合、そして協約締結予定の高神本部の訪問をし、今までよりもっと深い絆を確認することができた。

水曜礼拝は、東崇教会で行い、この教会が派遣支援をしている沖縄教会の郭鏞吉牧師の御言葉と在日大韓基督教会の牧師たちの特別讃頌によって霊的に素晴らしい時間を持つことができた。

最終日は、閉会礼拝（説教：金性済総会長）をもって研修会を終えた。これまで何度も韓国での研修会を通して我々は成長してきたが、これから激減していくであろう韓国諸教会が、今危機に直面していることから、多くの思いや宣教の課題を抱えて帰ってきた。

（報告：教育委員会）

全国女性会

第61回定期大会を開催

金承哲南山大教授招き研修会も同時に



李炫知 新会長

去る6月22日～24日、第61回全国教会女性連合会定期大会と研修会が、「キリストに結ばれて歩みなさい」というテーマのもと名古屋教会で行われた。

定期大会では役員改選、新総務の承認、憲章の代議員に関する内容の修正、承認があった。特に女性牧師、伝道師に関しては各教会の女性会の有無にかかわらず、各地方

会の女性会定期大会に参加していれば、全国女性会の代議員になることが可能であると承認された。

研修会では金承哲教授（南山大学）を招き、「あなたがたは私を何者だと言うのか」、「わたしはイエスの焼き印を身に受けている」という主題で二度の講演を聞いた。金承哲教授はキリスト教文学、特に遠藤周作の研究者であり、遠藤周作が「神がさまざまな痕跡を通じてわたしたちに働きかけておられる」ことを文学によって表現していると資料や写真を用いて語った。

一日目の晩祷の新総務の証し、二日目の晩祷の女性会の奨学金受給者である李成俊神学生（横浜）の証し、またグループ別討論の時間、食事や休憩の時間に、互いの教会の状況を分かち合うことができ、慰めと喜びを得ることができた。

〈新任員〉

会長：李炫知（神戸）、副会長：金英子（大阪）、書記：李正子（名古屋）、副書記：金恵珍（川崎）、会計：金成喜（東京）、副会計：李銀珠（横浜）、教育後援局：兪貞恵（武庫川）、宣教社会局：李敏禮（西新井）、財政局：李好子（小倉）、電話相談局：金玉京（大阪）、総務：石橋真理恵

地方会長：関東＝朴英遠（品川）、中部＝宋福姫（名古屋）、関西＝金錦順（布施）、西部＝崔美恵子（武庫川）、西南＝韓榮蘭（福岡）
会計監査：鄭仁仙（岐阜）、朴英子（神戸）



第50回日本基督教団との 宣教協力委員会開催

2 毎年定期的に持たれる日本基督教団（UCCJ）と在日大韓基督教会（KCCJ）の宣教協力委員会が、6月1日～2日、滋賀県琵琶湖の「同志社トリートセンター」にて、「両教会の宣教課題と宣教協力 ～宗教改革500周年に学ぶ～」という主題で開催された。今年はUCCJ側からは11名、KCCJ側からは8名が参席した。

同志社大学の村上みか神学部教授が「宗教改革者たちの教会論：聖書に基づいた教会形成の試み」という主題で講演をし、その中で、宗教改革は教会の制度ではなく、「内実」の改革であったことが強調された。



今年度の「平和メッセージ」の草案について議論をし、そこでの意見等を踏まえ、それぞれの機関誌に掲載することとした。

関東地方会

洪雄杓牧師委任式挙行 勸士就任式も兼ね北上ベテル伝道所で

5月18日、関東地方会の北上ベテル伝道所において洪雄杓牧師委任式、金恩姫勸士就任式が行われた。

臨時堂会長の徐東一牧師の司式のもと、金根湜牧師による「問題よりもより大きい恵みだけあれば」(創2:7)という説教があった後、関東地方会会長の張慶泰牧師の司式で洪雄杓牧師の委任式を行った。その後、洪雄杓牧師の司式により金恩姫勸士就任式行われた。その後、林泰鎬牧師、李明信牧師から勸勉があり、金秉喆牧師、邑原宗男牧師(日本基督教団江刺教会)から祝辞が述べられた。

委任された洪雄杓牧師は1966年韓国で生まれ、2005年に基督教大韓監理会から牧師接手を受け、2011年にメキシコ宣教師として派遣され、そして2015年から日本宣教師として派遣された。



洪雄杓 牧師

関東地方会

東京中央教会で長老将立式 按手執事、勸士就任式も同時に

5月21日、東京中央教会において、李順姫長老将立式とJohn Kim、崔亨福執事按手式、金銀兒、余相喜、尹恵暎、印省熙勸士就任式が盛大に挙行された。礼拝は林泰鎬牧師の司会で、鄭仁和牧師が「捕らえようと」(ピリピ3:1~16)という説教を行った。長老将立式は地方会長の張慶泰牧師の司式、執事按手式と勸士就任式は堂会長の林泰鎬牧師により進行された。将立された李順姫長老は1957年韓国で生まれ、1997年から東京中央教会に出席し、2010年から勸士として奉仕してきた。



関東地方会

横浜教会で長老将立式 勸士就任式も同時に挙行

5月28日(日)横浜教会において金永玉・柳町功長老将立式、全英子勸士就任式が行われた。

堂会長李明忠牧師の司式のもと、関東地方会副会長の金秉喆牧師による「神様が使うのに便利な働き人」(使徒1:8)という説教があった。その後、関東地方会会長の張慶泰牧師の司式により、金永玉、柳町功長老按手祈禱がなされた。全英子勸士就任式は李明忠牧師司式によって行われ、金君植牧師(東京教会名誉牧師)から勸勉、朴英遠長老(品川教会)から祝辞があった。

将立された金永玉長老は、1953年韓国で生まれ、横浜教会にて執事(1988年～)、勸士(2015年～)として長年奉仕し、柳町功長老は、1961年に生まれ韓国人の夫人により横浜教会に導かれ、2009年から執事として奉仕してきた。

就任した金英子勸士は1958年生まれて、1996年から執事として奉仕してきた。



中部地方会

李珍容牧師委任式挙行 勸士就任式も兼ね豊田めぐみ伝道所で

中部地方会の豊田めぐみ伝道所に赴任された李珍容牧師の委任式及び泉顕美、黄美京勸士就任式が、6月25日盛大に行われた。

臨時堂会長の権潤日牧師の司会のもとで崔光一長老の祈禱、総幹事金柄鎬牧師の「仕える共同体」(マルコ10:35~45)という説教があり、その後、中部地方会副会長の鄭守煥牧師の司式で李珍容牧師の委任式が行われた。

泉顕美、黄美京勸士就任式は、新しく担任牧師として委任された李珍容牧師の司式により行われ、勸勉は全炳玉牧師、祝辞は総会長の金性済牧師がされた。

委任された李珍容牧師は、1976年韓国で生まれ、ソウル神学大学院を卒業、2010年基督教大韓聖潔教会で牧師接手を受け、日本宣教師として派遣された。

勸士として就任された泉顕美、黄美京勸士は豊田めぐみ伝道所の創立から執事として仕えられてきた。



中部青年会

定期総会及び修養会開催 「君の賜物は？」テーマに自身を自覚

去る5月5日～6日、中部地方会青年連合会(以下、中部連)の春修養会が長野教会にて開催された。中部地方会の青年13人が参加し、二日間のプログラムを通して信仰の成長を目指した。

説教を通じて中部地方会の青年部長の崔鐘福牧師(千曲ビジョン伝道所)により「何事も聖霊が宿ることによりクリスチャンと成りうる」というメッセージが与えられた。

今回の修養会のテーマは、「君の賜物は？」であり、自分について真剣に向き合うことで、神様が自分たちに与えてくださった賜物を自覚することを目指した。

定期総会には、1年間の活動報告と、役員改選を行い、新役員が選出された。組織は以下の通りである。
会 長：文瑠珂(名古屋)
副会長：柴崎領太(長野)
書 記：鈴木正皓(名古屋)
会 計：文野直美(豊橋)
渉外委員：伊藤直人(名古屋)
(報告：中野晃徳)



<西部地方会 記事訂正>

福音新聞6月号に西部地方会定期総会報告が掲載されましたが、報告に間違いがありましたのでお詫びして訂正いたします。

・社会部長：韓澤柱牧師、・考試部長：梁榮友牧師、
・監査：林英宰長老、金哲鎬長老

<総会事務局夏季休業のお知らせ>

総会事務局は8月14日(月)～18日(金)、夏季休暇のためお休みします。

浪速教会創立20周年記念式挙行 「愛の家」として恵みに満ちた20年

2017年7月2日主の恵みの内に、浪速教会「愛の家」創立20周年記念行事が行われた。記念式には暑い日にもかかわらずKCCJ関西地方会の各教会の教役者、信徒らが約100人が参加した。

礼拝は金鐘賢牧師の司会のもとで行われ、森田幸男牧師（日本キリスト教会・大阪北教会）よりメッセージが語られた。特に今まで「愛の家」を支えて来た故朴昌煥牧師（在日大韓基督教会豊中第一復興教会）、古川富也牧師（日本自由メソヂスト大阪東南キリスト教会）、久保賢太郎牧師（グッドサマリタンチャーチ協力牧師）、森田幸男牧師（日本キリスト教会大阪北教会）、金安弘牧師（永和教会名誉牧師）、李清一牧師（KCC名誉館長）に感謝牌が贈呈された。

浪速教会は、20周年を迎え、今まで頂いた神様の恵み、全国の各教会より受けた厚い励ましに答え、一層主の御業のため励んでいきたいと願っている。



社会福祉法人向上社保育園・児童館、新築竣工式行っ

6月10日（土）、83周年を迎える京都教会の向上社保育園・児童館の竣工式が行われた。礼拝には林明基牧師の司式のもと崔春子牧師の祈祷、「家と土台」（マタイ7章24～27）と題する林明基牧師の説教の後、楊炯春牧師の祝祷があった。

向上社保育園の始まりは、1933年、創立者である「高光模」先生が在日同胞の子供たちのために創設した「善光の家」がその始まりであり、その翌年、「京都田中幼稚園」として設立され、1951年から京都教会がその事業を引き受け、その事業を続けてきた。



園舎の老朽化のため、2014年から「向上社の新築計画」が話し合われ、昨年の7月に着工、今年の6月10日（土）に竣工式礼拝を献げることができた。

（報告：兪正根長老）

関西地方会

関西オリニ大会開催 「私たちのささげもの」テーマに

去る、6月11日（主）、KCC会館において、『私たちのささげもの』というテーマのもとにオリニ大会が開催された。参加人数は、子供31名、大人27名、7教会が集まった。

まず、1部では、清水のぞみ師母がゲームを進行し、子供たちとの楽しいふれあいの時を持つことができた。

2部は、講師の川端和子先生によるトーンチャイムの演奏法を教わった。大人も子供も初めての方が多く、それが響きだす素敵な音色に感動した。

3部では、早速、学んだトーンチャイムを用いて子供たちが神様に讃美を献げるという素晴らしい礼拝となった。次世代を担う子供たちが大人になっても変わらず神様を愛する気持ちを献げていってほしいと願う。（関西地方会教育部）



青年会全協

第3回中央委員会開催 西南各教会訪問し、よき理解得る

青年会全国協議会の第3回中央委員会を4月29日～30日小倉教会で開催した。役員の趙実樹（川崎教会）の祈りから始まり、各部報告と各討議を行った。討議事項は、以下の通りである。①広報部の財政不足とその対策について。②今後の活動の財政について。③夏期修養会の交通費の把握、共有の仕方について。④日本キリスト教会の合同フォーラムについて。⑤夏期修養会プログラムについて。⑥青年祈祷文について。

一日目の会議後、被災した熊本教会の方々のためのクッキー作りをし、西南地方の青年たちと食事を共にする、心と体の暖たまるひと時を過ごした。

翌日は西南地方の各教会（小倉教会、博多教会、熊本教会、福岡教会、折尾教会、別府教会）に、訪問をし広報をした。その時賛助を受けた献金は、26万8千円にもなった。全協の活動に理解と協力をいただけることは、本当に感謝である。

個教会訪問による様々な出会いは、役員たちにとって良き刺激となり、また主の導きによる新たな青年との出会いもあり、恵ある時間となった。主の御手の中で、青年同士の交流が活発になるよう祈り求め続けたい。

（青年会全国協議会）



公告

在日大韓基督教会 第54回 定期総会 召集

在日大韓基督教会 第54回定期総会を総会憲法第13章（総会）第60条（定期総会組織）、第61条（定期総会召集）と総会規則第2章（定期総会）、第3章（総代）第3条（総代及び準総代）、に基づいて次のように召集します。

- (1) 主題：「복음을 들고 세상에 생명과 평화를」(요20:21)
「福音をたずさえ、世にいのちと平和を」(ヨハネ20:21)
 - (2) 日程：2017年10月8日（主日）19:00～10日（火）17:00
 - (3) 会場：在日大韓基督教会 神戸東部教会 〒651-0077 兵庫県神戸市中央区日暮通6-4-8 (☎078-241-5253)
- ※「総代・準総代の交通費・宿泊費は各地方会が負担し、女性会・青年会代表はその機関が負担する」
(総会規則 第3章第3条4項)

2017年8月1日

在日大韓基督教会 総会長 金性済 書記 趙永哲